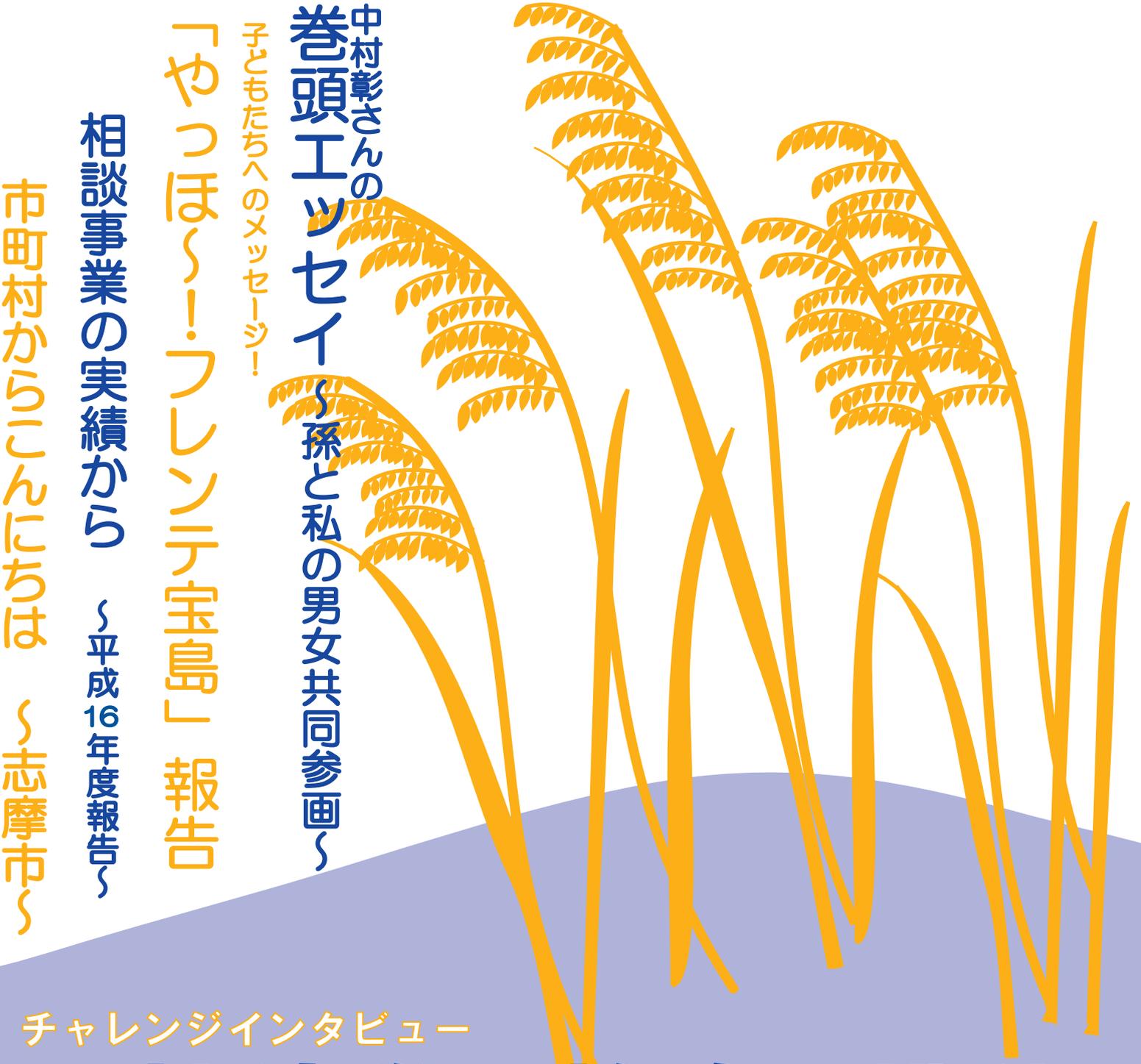


Frente vol.22

フレンテ フレンテとはスペイン語で「前向き」という意味です。

2005.9



中村彰さんの
巻頭エッセイ
「孫と私の男女共同参画」
子どもたちへのメッセージ！

「やつほ〜！フレンテ宝島」報告

相談事業の実績から
〜平成16年度報告〜

市町村からこんにちは
〜志摩市〜

チャレンジインタビュー

男性幼稚園教諭の挑戦

女性が多い幼稚園教諭。そこで動き出したことは・・・？！

フレンテみえ「男性講座」講師でもある中村先生のエッセイ第2弾。前回の「ワーク・ライフ・バランス」に引き続き、男性の視点からの男女共同参画エッセイです。

孫と私の男女共同参画

3歳の孫がいる。男の子である。一緒に暮らしているわけではないが、近くに住んでいるので、ときどき訪ねてくれる。

彼はクルマが大好きだ。一緒にいると、通りすぎるクルマを見て「ダンプカーだよ」「宅急便だよ」「消防ハシゴ車だよ」と私に声がけしてくる。一緒に楽しもうというわけだ。

特に工事用車両が好きだ。工事現場の近くを通りかかると離れようとしなない。ブルドーザー、パワーシャベル、クレーン車……。ひとつひとつ確認している。私の知らない特殊車両も知っている。

「〇〇で工事しているよ」と彼から近所の情報を得ることがある。

最近、宅急便のダンボール箱がお気に入りだ。宅急便のトラックの図柄が描かれた箱だ。その箱を使って、おもちゃやタオルなどいろんなものを入れて押して行き「宅急便です！受け取ってください！」と声がけをする。また、箱の中に座って、運転手のつもりになっている。

「やっぱり男の子」と周りは見ている。

彼は、ままごと遊びも大好きだ。「後片付けしているのだ」と言って、お鍋の底まで洗う真似をしている。嬉々として遊んでいる。

デパートのおもちゃ売り場に行くと、自由に遊べるおもちゃが置いてある。いろんなものに興味をしめすが、ままごと遊びのおもちゃコーナーで大半を過ごしている。

台所で、大人が料理をしていると自分も手伝おうとする。先日、私たちと息子の家族で、すき焼きをした。3歳の孫が、家族みんなの採り皿に生卵を割り、すき焼き鍋に野菜を入れる役をした。いわば鍋奉行をしてくれた。

子どもが、性別ではなく、その子なりに身近な暮らしのなかで成長する社会であってほしい。

私も最近まで台所に立つという習慣がなかった。

子どもの頃は母親の料理を、結婚してからは妻の料理を食べてきた。母親の味付けと妻の味付けでは、ずいぶん違いがある。好みも異なる。どちらに対しても文句を言うことなく出された料理を食べてきた。

自分は固めのご飯が好みなのだが、柔らかいご飯が出されれば食べてきた。ご飯の炊き加減にも口をはさまなかった。大人になってからは、仕事に追われ、もともと、料理をつくったことのない私は、他人任せを続けてきた。

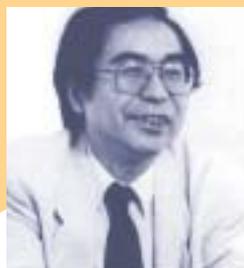
妻が入院することになった。食事をどうするか、はたと困った。生活力のなさに愕然とした。食生活の力量が上であった息子たちにずいぶん助けてもらった。

ある日、私は奮起した。「料理教室に通う」と宣言した。料理のイロハも知らない40歳台後半の私は、先生が次々求める手順についていくことができなかった。挫折はしたくなかった私は、まずは「味噌汁だけでも」と思い、朝食当番を進んでするようになった。

だし雑魚をどうするか、味噌の量はいかほどか。具を何にするか。日々、悪戦苦闘するうちに、台所が面白くなってきた。たとえばケーキづくり。「自分がおいしいと食感する甘さを出すために、こんなにも砂糖を入れるのか」と新しい発見である。「それなら食べる量を減らそう」と思った。自分が料理をつくることで、ただ食べていただけでは知ることができない新しい発見の連続だった。

いつしか料理にのめり込んでいる私があった。

執筆者紹介



中村 彰さん

メンズセンター運営委員長。専門分野は、男性学、ジェンダー論、メンズリブ、男女共同参画プラン、文化人類学。

現在、相愛大学非常勤講師、花園大学非常勤講師、大阪市立大学非常勤講師を務められています。



8/7大盛況！ M祭！ウォークラリー やっほ～！フレンテ宝島

三重県総合文化センターの夏祭り「M祭！」では、フレンテみえの取組として、ウォークラリー「やっほ～！フレンテ宝島」を開催しました。「やっほ～！フレンテ宝島」とは、フレンテみえが男女共同参画の学習として実施している子ども向けの事業で、今年で3年目となります。毎年たくさんの方にご参加いただいております、今年も約800名の方で賑わいました。このウォークラリーに3年連続参加というファンの方たちもいらっしゃいました。

今年度は「M祭！」の当日に向けた2つの取組を行いました。一つ目は子どもの事前学習として「夏休みこどもワークショップ」を開催、二つ目は8名の大学生の方に企画段階から参加いただき、若い世代の方との協働により実施したことです。

当日はフレンテ宝島ならではの体験に、子どもたちの笑顔がいっぱい溢れる一日となりました。

♪詳細はホームページをご覧ください！ <http://www3.center-mie.or.jp/center/woman/>

取組1

「夏休みこどもワークショップ」

子どもたちが主体的に参加し、当日のウォークラリーに活かしていくために、事前学習としてワークショップを行いました。

今回のテーマは「きもち」。ワークシートをしたり、絵を描いたりしながら、個々の気持ちの大切さの象徴として「きもちの木」を完成させました。

ウォークラリー当日はエントランスに飾り、作成物の一部も実際に使用しました。



きもちの木

取組2

「大学生のサポーター隊」

特に若い世代にフレンテみえの事業に関わっていただくこと、大学生に限定して募集し、企画の段階から参画していただきました。

夜遅くまで内容を考えたり、制作物を作ったり、ナレーションを録音したり…。普段では出来ないことに戸惑いながらも、楽しんで頑張ってくださいました。当日も中心的な役割を担うリーダーとなり大活躍でした。



サポーター隊会議

「やっほ～！フレンテ宝島」での体験

「フレンテからのメッセージ」

ウォークラリーでは、参加者全員が協力して関門をクリアしていきました。

一時的な体験に留まらず、家庭や学校で活かしていただければと考え、体験したことを、皆で話し合っていたくように呼びかける手紙を配布しました。



ウォークラリーで体験をする子どもたち

来年度も！

2006年「M祭！」は8月6日（日）に開催する予定です。バージョンアップし続けるウォークラリーに、家族と友人と一緒にお待ちください。お待ちしております！

数少ない男性幼稚園教諭として頑張っている辻木さん。三重県男性保育者連絡会を立ち上げ、ネットワークづくりへの挑戦が始まりました。夏休みの幼稚園を訪問し、お仕事の合間にお話をうかがいました。



松阪市立松江幼稚園教諭
三重県男性保育者連絡会代表

辻木慎吾さん

◆つじきしんごさん

(進学塾の講師を退職し、平成12年現三重中京大学短期大学部こども学科へ入学)
平成14年松阪市立射和幼稚園教諭に就任。
平成17年6月4日三重県男性保育者連絡会を発足。

*幼稚園教諭になられていかがでしたか？

子どもの成長の大切な幼児期に関われることに喜びを感じています。子どもにとって、男性と女性が自然にいる環境が望ましいと思っています。しかし、現実ほとんどが女性。男性幼稚園教諭がもっと増えればよいのと思います。

*職場では唯一の男性ですが、どのように感じていますか？

男性というだけで、いろいろな意味で、見られているようなプレッシャーはありますね。ハード面でも、トイレ、更衣室がないといったこともありました。

男性幼稚園教諭が珍しいだけで終わらず、現場で働く指導者の1人として認めてもらえるようになります。

*日常の仕事のなかで、心に残るエピソード等がありますか？

園児に将来の夢を聞いたとき「幼稚園の先生」と答えた男の子がいたんです。もし男性の幼稚園教諭に接していなければ、将来の夢として挙げることはなかったかもしれません。その時は、自分の存在も価値のあることなんだと思い、なにより嬉しかったですね。

*三重県男性保育者連絡会を立ち上げたのはなぜですか？

職場では、むしろ男性女性を意識されていない方も多い。でも、男性がただ一人という職場としての悩みはやはりあります。

ちょっとしたことを同性に話せば、と思うことはあります。男性同士でそんな悩みを共有する場が必要だと感じました。まずは、県内の保育者全員への声掛けから始まりました。

*連絡会のことを教えてください。

連絡会は、県内の公立・私立、正規職員・講師の境目なく現場で働く男性保育者全員を対象にしています。発足時は約20名だったメンバーも、今は約30名になりました。現在も募集中ですので興味をお持ちの方はご連絡ください。

連絡会の目的としては2つ柱があります。

まず、働きやすい職場をつくるために、普段相談できないようなことを男性同士で話し合う場を持つことです。ざっくばらんに意見交換する会を、1~2カ月に1回程度開いています。

2つ目には若い世代への働きかけです。学生が安心して男性保育者を目指せるよう呼びかけ、フラットな立場で話し合う交流会を設けていきたいです。今年初の試みとして、出身大学で交流を行いました。今後も継続的に行っていきたいと考えています。

また、個人的には、中学・高校生にも呼びかけ、こんな選択肢もあるんだと早い時期に知ってもらいたいと思っています。

今後としてはネットワークの充実を図り、さらなる交流を深めていきたいですね。

*最後に一言！

男性も女性も性別にこだわらず、適材適所で活躍できたらと思います。こたえはすぐにはみつからないと思いますが、試行錯誤してやっていきたいと思っています。

●三重県の幼稚園本務教員数

総数1,652名のうち、男性は54名。このうち教諭数は男性17名、女性1,105名です。(平成17年5月現在)

※本務教員(本務者)とは
園長、教頭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、常勤(期限付)の講師等があります。

ひとつのテーマを詳しく紹介します

相談の利用状況

「フレンテみえ相談室」では、男女が自立して自分らしく生きていく上で生じるさまざまな問題についての相談を受けています。平成16年度は各種相談全体で1,735件の相談がありました。

最も件数が多い「電話相談」の一般利用者の内訳をみると、

女性の利用が圧倒的に多く92.3%となっています。年代では30代が3割を占め、30代～50代の利用者層で全体の約8割となっています。

相談の内容で多いのは、女性では「夫婦問題」がトップで、離婚、DV、夫の浮気などについて具体的な対処や気持ちの整理に悩む相談が主となっています。続いて「対人問題」「自分自身」の順となっており、対人関係のなかで生き方を見つめなおす相談が多くあります。男性では気持ちの相談というよりも、直接問題を解決するために法律相談などの利用を目的に電話をかけて来られる方が多く「専門相談希望」がトップを占め、続いて「夫婦問題」「暮らし」となっています。

個別相談から男女共同参画社会づくりへ

フレンテみえでは、寄せられた相談の背景に固定的な性別役割意識や社会制度がみえてくることから、問題を整理し、講座等の事業や施策にフィードバックして、相談のニーズを男女共同参画社会づくりにつなげています。

夫や家族、友人、地域の人との対人関係に悩んでいる女性や、「自分に自信がない」「協調性を重んじるあまりに言いたいことが言えない」などの悩みを抱えている女性が多いことから、「自己尊重トレーニング」「自己主張トレーニング」講座を毎年実施し、平成16年度は地域講座もあわせると延べで455名の参加がありました。また語り合いのグループ「CR」が各講座修了生を中心に5グループ発足し、仲間と相互に自分の思いを話せる場として自主的な活動ができるようにサポートしました。年度末には講座「もっと知りたい！CR」を実施して互いのグループの情報交換ができる場を提供しました。

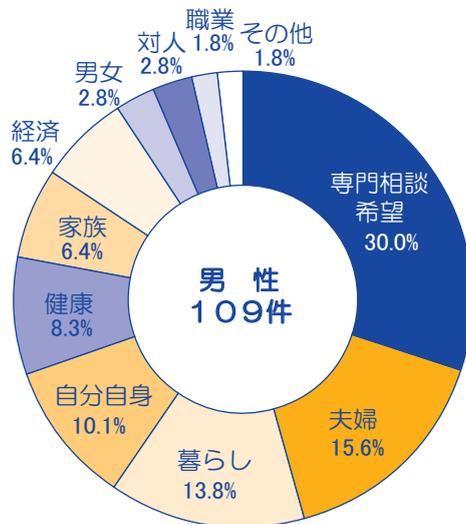
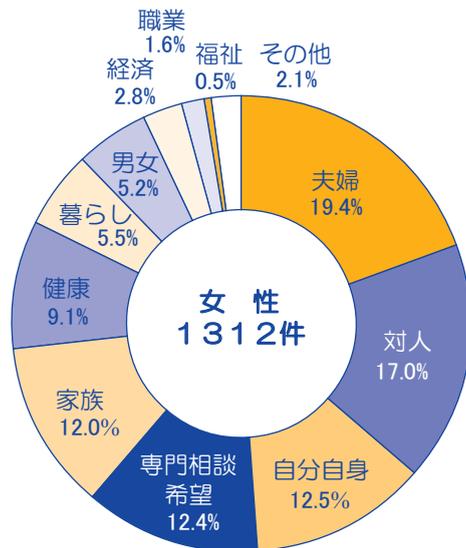
また、性やからだについての相談も多く寄せられていること、昼間働く女性たちに講座参加機会を提供することなどから、言葉や態度を上手に使う自己防衛術と快適な毎日を送るために知っておきたい健康管理のポイントを学ぶ夜間講座「自分で守ろう！性とからだ」を実施し、延べ44名の参加がありました。

フレンテみえ相談室では、利用者と一緒に考えながら、利用者自身が答えを出していけるようなサポートを心がけています。これからも利用者の立場に立った相談システムづくりに一層の充実を図っていきます。

「フレンテみえ相談室」総利用件数

電話相談	1,447
面接相談	103
専門相談	
法律相談	119
女性のための性とからだの相談	7
三重県立看護大学助産師による女性のための健康相談	38
男性のための相談	21
総計	1,735

「電話相談」の相談内容（他機関等からの問い合わせを除く）



フレンテみえ相談室「電話相談」TEL059-233-1133
 受付時間：火～日 9:00～12:00 火・金～日 13:00～15:30
 木 17:00～19:00

志摩市企画部市民参画課の岩崎さんにご回答いただきました。

志摩市の男女共同参画推進状況は？

志摩市では合併と同時に「市民参画課」を新設し、男女共同参画についてもより具体的に推進を図る体制を整えました。現在は平成17年度中の完成を目指し「志摩市男女共同参画推進プラン」の策定を進めています。

今後の展望

志摩市男女共同参画推進プランの策定を当面の目標とし、完成後のプランに沿った事業展開、市民への啓発、行政体制の整備を図り、志摩市の地域特性に応じた男女共同参画の推進を進めます。

PR

推進状況に掲載のとおり、本年度志摩市では男女共同参画に関する基本計画である「志摩市男女共同参画推進プラン」の策定に取り組んでいます。より高い実現性を備え、市民の皆さんにも十分ご理解・ご納得いただけるようなプランが完成できるよう頑張っています。



▲第1回志摩市男女共同参画推進プラン策定審議会の様子

ひとくち情報 女子差別撤廃条約 第2回

女子差別撤廃条約について全3回でお伝えするコーナーの第2回目。今回は女子差別撤廃条約が私たちの生活と密接に連動していることをご紹介します。

性別にとらわれない
男女平等の社会を！

1979年、国連総会において採択された女子差別撤廃条約の締約国数は、2004年3月現在で177カ国。世界中のほとんどの国が条約の加盟国になっています。この条約は、「世界女性の憲法」とも呼ばれ、「世界人権宣言」や「国際人権規約」などの流れを引き継ぎ、女性の権利に関する事項を集大成した、世界の多数の国々が認める男女平等の国際基準なのです。

この条約の中心となる理念は、第5条にあるように、「男は仕事、女は家庭」に代表される固定的な役割分担意識が男女差別の根源であり、性別で役割を決める考え方をなくすことです。仕事と家庭の役割を男女でともに担うことを目標にしています。

条約の大きな特徴としては、条約が法制上の性差別の改廃のみにとどまらず、個人・団体または企業による女性に対する差別を撤廃するためのすべての適当な措置を国がとるよう要請している点です。実際に女性差別がある場合、例外として女性に対する暫定的な特別措置を認めています。「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」と呼ばれるものがこれにあたります。さらに個人的なかかわりのなかでの差別だけでなく、伝統や慣習による区別も禁じています。

男女の平等を実現するためのステップとして、差別的な法律や制度の廃止、事実上の平等実現に向けての具体策、そして、差別の根源にある意識の領域にせまるものと考えられることができるとすれば、この条約は、まさに男女の固定化された役割分担意識の改変を呼びかけた点に、その意義を見いだすことができます。

〈参考：女子差別撤廃条約注解〉

フレンテみえのホームページ「参画ゼミ」でも「女子差別撤廃条約について」を掲載していますので、是非ご覧ください。 ホームページアドレス <http://www3.center-mie.or.jp/center/woman/>

7.2, 16, 30

男性講座一般コース 「大人の時間の楽しみ方」

講師に中村彰さんを迎え、「定年退職」を焦点に、肩書きをはずしたこれからの生き方を考えました。また、7月16日の第2回講座では、受講者の皆さんでホットケーキとおにぎりを作り、試食しながら座談会を行いました。



9.3, 10

フレンテみえエンパワーメント・スクール「女性のライフサイクル研究コース～わたしの問題を読み解くために～」

第1回はフェミニストカウンセラーの井上摩耶子さんから「ジェンダーとは 夫・パートナーとの関係」について、第2回はフェミニストカウンセラーの加藤伊都子さんから「娘としての母との関係」について、それぞれお話をいただきました。約50名の方が参加し、熱心に耳を傾け一緒に考えました。



■各回講座受講者受付中

結婚、育児、仕事、介護など、人生に起こる様々な課題を各専門講師とともに考えてみませんか。

- 日時: 10/1, 10/8, 10/15, 11/5, 12/3, 1/14, 1/21 各回10:30~12:30 (12/17は定員になりましたので締切りました。)
- 場所: フレンテみえ セミナー室C
- 対象: 原則として県内在住、在勤、在学の女性。県外の方はご相談ください。

- 受講料: 1回の受講につき、800円 (ただし1/14, 1/21は無料)
- 募集人数: 先着順。各回定員になり次第締切。
- 託児: 500円(おやつ代含む 1才6ヶ月~未就学児)。託児申込は講座の2週間前。定員になり次第締切。
- 申込: フレンテみえまで (059-233-1131)

9.11

第1回女性史作成活動報告会

アドバイザーとして梅村佳代さん(奈良教育大学教授)を迎え、8月に行った女性史作成活動の報告会を行いました。参加者の皆さんは身近な地域の女性の歴史について認識を新たにしました。



10.16, 11.6

講座「三重県の近現代史と女性」

6月から県民の皆様の参加により、三重県の女性史作成のための取組を進めています。今回、作成のための学習会を広く一般に公開します。明治・大正・昭和にわたる三重の歴史を学びます。講師には西川洋さん(三重大学人文学部教授)をお迎えします。

- 日時: 10月16日(日)、11月6日(日) 各回13:30~15:30
- 場所: フレンテみえ セミナー室B
- 受講料: 無料
- 募集人数: 各回20名程度。先着順。
- 託児: 500円(おやつ代含む 1才6ヶ月~未就学児)。託児申込は講座の2週間前。
- 申込: フレンテみえまで (059-233-1130)

11.18, 19

男女共同参画フォーラム～みえの男女2005～

平成17年3月に「三重県男女共同参画基本計画第二次実施計画」が策定されました。様々な節目の年である今年度は、今までの動きを振り返り、今後のあり方を考えます。

- 日時: 11月18日(金) 13:30~ 11月19日(土) 10:00~
- 場所: フレンテみえ
- 参加費: 無料
- 募集期間・人数: 10月初旬から11月4日(金)まで。要申込。400名程度。
- 託児: 要申込。先着20名程度。イベント開催日の2週間前締切。託児料1人1,000円/回(おやつ代含む 0歳~未就学児)
- 申込: フレンテみえまで (059-233-1130)

11.26, 27

日本まんなか共和国男女共同参画フォーラム ~2005滋賀~

福井・岐阜・三重・滋賀の4県が持ち回りで開催するこのイベントは、今年度から2巡目に入り、名称も変わりました。4県団体・グループが集い、男女共同参画の問題を共に考え、交流を深めるとともに一層の連携を図ります。フレンテみえでは、今後の三重県における男女共同参画の推進を目指し、研修事業を行います。

ウェルカムセミナー

男女共同参画の学習とフレンテみえ施設案内をセットにしたプランです。5~20名のグループでお申込みください。

- 日時: 随時
- 場所: フレンテみえ
- 申込: フレンテみえまで (059-233-1130) 平成18年2月まで随時受付。

